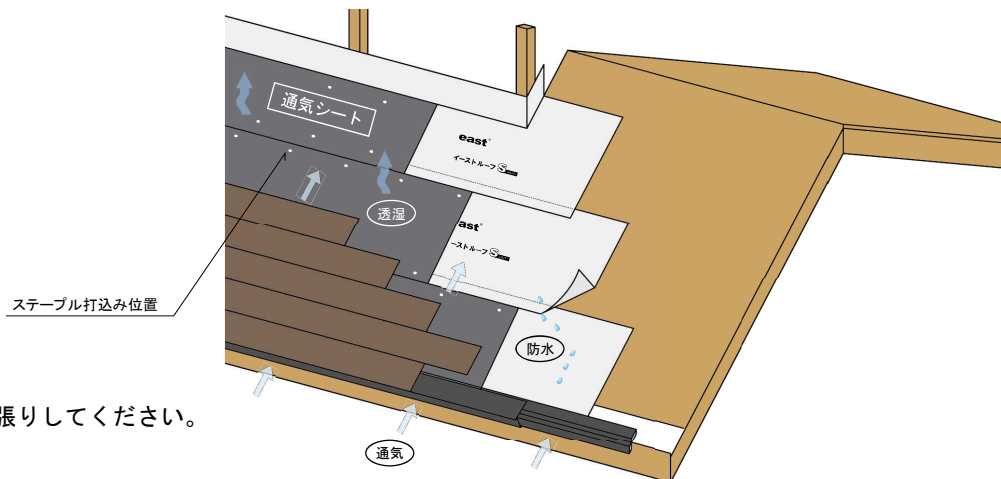


イースト通気シート 施工要領



■ 葺き方

- ・通気シートは横張りしてください。

■ 留め方法

①通気シート

透湿ルーフィングの重ね部分に150~400mm間隔でステープル留めして下さい。

勾配が緩い場合は間隔は長く、急な場合は間隔は短く留めて下さい。

△ 安全性を確保するため、ステープルは下地にしっかり留まっている事を必ず確認して下さい。

注：止めつけ(仮留め)は、作業の安全面や作業効率から必要に応じて行うべきもので、むやみに多数のステープルを打ち込むことは、下葺き材を貫通する孔が増えるだけで防水機能面では好ましくありません。屋根下葺き面に雨水が浸入した場合、ステープル留めつけ部分がピンホールとなりやすく繰り返し浸入した場合雨水が漏水する恐れがあります。

△ ・施工後は強風によりシートが剥がれる恐れがありますので、十分な風対策をして下さい。

・上葺き前の台風、大雨(ゲリラ豪雨)等の天候の悪い日の養生は、上にシートを掛けて下さい。

②鋼板屋根

通気部分(10mm)を確保しながら、40mm以上のビスを使用し留めて下さい。

■ 上葺き期限

- ・通気シートを施工後10日以内に屋根上葺き材の施工を行って下さい。

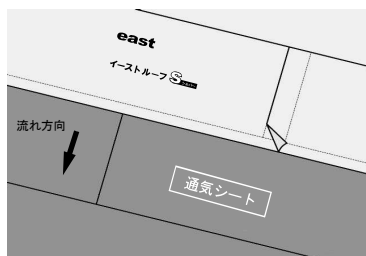
■ 廃棄方法

- ・本品を廃棄する場合は、産業廃棄物となりますので「産業廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき適切な処理を行って下さい。また、ポリプロピレンのため焼却時には有毒なガスは発生しません。

■ 参考施工納め方法

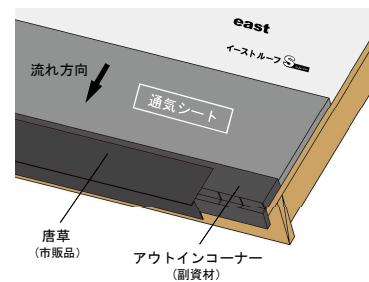
◆一般部

イーストルーフシルバ-2を施工し、その上に通気シートを施工します。



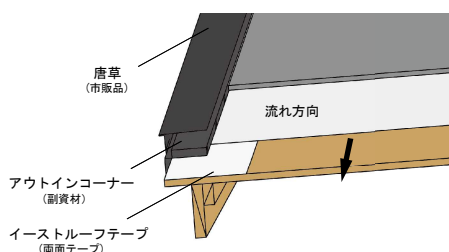
◆軒先部

イーストルーフシルバ-2を施工し、その上に通気シートを施工します。



◆ケラバ部

両面テープの上にアウトインコーナー、イーストルーフシルバ-2を施工します。その上に通気シートを施工します。



◆棟部、谷部、隅棟部などは一般部同様イーストルーフシルバ-2を施工し、その上に通気シートを施工します。